

製品名: リン酸化 EGFR (Tyr1092) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00829**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 134 kDa; Observed MW: 140-160 kDa

抗原情報

遺伝子名	EGFR
別名	EGFR; ERBB; ERBB1; HER1; Epidermal growth factor receptor; Proto-oncogene c-ErbB-1; Receptor tyrosine-protein kinase erbB-1
遺伝子 ID	1956
SwissProt ID	P00533
免疫原	抗血清は、ヒト EGFR の Tyr1092 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1061-1110

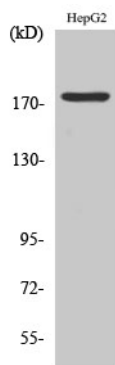
背景

EGFRは受容体型チロシンキナーゼです。上皮成長因子 (EGF) および関連成長因子 (TGF- α 、アンフィレグリン、ベータセルリン、ヘパリン結合性EGF様成長因子、GP30、ワクシニアウイルス成長因子など) の受容体であり、細胞の増殖と分化の制御に関与しています。1回膜貫通型チロシンキナーゼです。この受容体へのリガンド結合は、受容体の二量体化、自己リン酸化 (トランスリン酸化)、下流の様々なシグナル伝達分子の活性化、およびリソソーム分解を引き起こします。

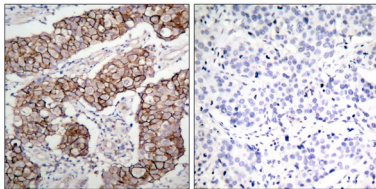
研究分野

シグナル伝達

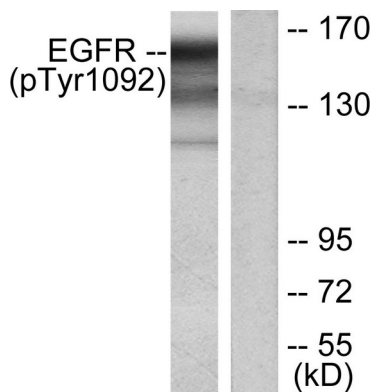
画像データ



リン酸化 EGFR (Tyr1092) 抗体を使用した、さまざまな溶解物中のリン酸化 EGFR (Tyr1092) のウエスタンブロット分析。



EGFR (リン酸化チロシン 109, 2) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



EGF 処理した HUVEC ライセート中のリン酸化 EGFR (Tyr1092) を EGFR (リン酸化 Tyr19, 2) 抗体を用いてウエスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。